

「北九州港長期構想中間とりまとめ（案）」に対する市民意見の内容と市の考え方

平成21年12月21日から平成22年1月29日までに実施しました市民の意見募集におきましては、市民の皆様から貴重のご意見・ご提案をいただきまして、誠にありがとうございました。

皆様からいただきました意見の概要及び、これに対する市の考え方を取りまとめましたので、次のとおり公表いたします。

なお、ご意見はその内容により一部要約または分割して考え方を記載しておりますので、あらかじめご了承ください。

平成22年10月

（問い合わせ先）北九州市 港湾空港局 計画課

〒801-8555 北九州市門司区西海岸1-2-7

TEL 093-321-5967

FAX 093-321-5915

電子メールアドレス

kouwan-keikaku@city.kitakyushu.lg.jp

■意見募集の結果

- 1 実施時期 平成21年12月21日（月）平成22年1月29日（金）（40日間）
- 2 意見提出状況
 - (1) 提出者 19名
 - (2) 提出意見数 65件
 - (3) 提出方法
 - ア 持参 10件
 - イ ファクシミリ 5件
 - ウ 電子メール 50件
 - (4) 提出された意見の内訳
 - ア 長期構想全般に関する意見 14件
 - イ 長期構想の位置づけに関する意見 1件
 - ウ 北九州港の概要に関する意見 3件
 - エ 長期構想の理念に関する意見 2件
 - オ 北九州港の将来像に関する意見 4件
 - カ 将来像の実現に向けた主要施策（案）に関する意見 41件

「北九州港長期構想中間とりまとめ（案）」に対する意見の要旨と市の考え方

長期構想全般に関するご意見

番号	意見の要旨	市の考え方	意見数
1	取扱貨物量・品目等を分析し、将来展望を想定して、長期構想を検討すべきである。構想として、貨物の数値及び実施時期の目標が必要と考える。	長期構想は、北九州港が将来目指す方向性を定めるものと位置づけています。 この長期構想から概ね 10 年以内の実現を目指す事業について、将来の貨物量や品目等の分析を行ったうえで、次期港湾計画を策定する予定です。	2
2	港湾特別会計の健全化への取組みなどを示して、将来の北九州港のあり方や成長戦略を論じる必要があると考える。	長期構想は、北九州港が将来目指す方向性を定めるものと位置づけています。 この長期構想から概ね 10 年以内の実現を目指す事業について、北九州港の現状や現在策定中の港湾整備特別会計の経営健全化策を踏まえて、次期港湾計画に盛り込む予定です。	3
3	北九州港のアジアに近い地理的優位性や国内交通の要衝を有することを活かした港湾整備を進め、物流コストや環境負荷を抑えた、アジアの主要港に負けない港づくりを期待している。	ご意見ありがとうございました。	6
4	北九州市の発展空間として、北九州港の将来ビジョンを示すことを希望する。	北九州港を空間としてとらえ、将来像で、2つの理念のもと、4つの将来像（案）が示され、これらの4つの将来像についての、各々の将来イメージ及び施策のイメージが示されています。 これらのイメージに基づき、10年以内の実現を目指す事業について、次期港湾計画に位置づけて取り組んでいく予定です。	3

長期構想の位置づけに関するご意見

番号	意見の要旨	市の考え方	意見数
5	北九州市の産業関係行政を総合化する計画と位置づけるべきと考える。	長期構想は、港湾法により港湾管理者に策定を義務付けている港湾計画の改訂にあたって、その指針となる20～30年先を目標に策定するものと位置づけています。	1

長期構想の概要に関するご意見

番号	意見の要旨	市の考え方	意見数
6	現計画に対する検証が必要と考える。ハブポート構想を断念せざる得ない背景等についての説明が必要ではないか。	現計画に対する検証は、当長期構想の巻末資料において行っております。今回の長期構想は、その検証を踏まえたうえで、取りまとめております。	1
7	アジアに近いは、西日本の港はどこも掲げており、優位性としてあげるものでないのではないか。	北九州港は、地理的な優位性に加え、現在、就航している定期航路数の面からも他港と比較して優位性があるといえます。	2

長期構想の理念に関するご意見

番号	意見の要旨	市の考え方	意見数
8	「理念1」と「理念2」を同等の重要度としているが、「理念1」の達成の道筋の中で、「理念2」が達成されるものではないか。	将来に向け、環境に対する意識の高まりを反映し、「理念1」と「理念2」は、同時にめざすべきものと考えており、2つの理念は、同等に重視していきます。	2

北九州港の将来像に関するご意見

番号	意見の要旨	市の考え方	意見数
9	港の本来の機能から、物流と産業に関する項目を充実させることは重要である。将来を見据えた港湾施設整備を希望する。	ご意見ありがとうございました。	3
10	北九州港の運営に関する将来構想を記述すべきではないのか。	将来に向けての港湾施設の運営は、管理者として当然の責務であると考えています。4つの将来像のうちの「災害に強く、いつも安全で、市民生活や企業活動を支える港」の項目中に記述しております。	1

将来像の実現に向けた主要施策（案）に関するご意見

(1/5)

番号	意見の要旨	市の考え方	意見数
11	北九州市内の企業のみが、北九州港を利用する荷主であるような記述は改めるべきではないか。	コンテナターミナル背後地の利用について記述しているため、企業誘致による「創貨」に努めるとの記述になっておりますが、もちろん、北九州市外の企業からの「集貨」にも努めていきます。 そのため、p41の記述に、「西日本地域からの広域集荷」を追加しました。	1
12	ひびきコンテナターミナルについて、24時間対応の明示を希望する。 また、太刀浦CTのアジアを結ぶ結節点の表記は、意味がわかりづらい。	p42、「ゲート作業：24時間364日対応可能」を追加しました。 また、太刀浦CTの記述については、「アジアを結ぶ結節点」から「豊富なアジア航路を有しています」に表記を改めました。	1

番号	意見の要旨	市の考え方	意見数
13	関門航路の大水深化や響灘地区の大水深岸壁の早期整備を希望する。	長期構想に位置づけられた施策のうち、概ね10年以内の実現する施策について、未着手の事業については精査し、必要な計画については、次期港湾計画に位置づける予定です。	5
14	国内物流のため、大型貨物トラックとフェリー・RORO船などによる複合一貫輸送システムの推進を希望する。	長期構想に位置づけられた施策のうち、概ね10年以内の実現する施策について、未着手の事業については精査し、必要な計画については、次期港湾計画に位置づける予定です。	5
15	北九州市内の雇用創出のため、産業用地は戦略的に確保し、その産業を支える港であることを希望する。	ご意見ありがとうございました。	4
16	構想の実現可能性を高めるためには、玄界灘、周防灘の港湾の位置付けを明確にし、玄界灘側は海外貿易港とし、周防灘側は、国内貿易港とすべきである。	<p>関門海峡を挟んで、西側は海外向け、東側は国内向けとしています。</p> <p>しかしながら、現状の施設の利用状況等を考慮すると、必ずしも、明確にはならない地区もございます。</p> <p>例えば、既存の貿易機能を活かしていく地区として、太刀浦、田野浦、西海岸地区等があります。</p> <p>また、新門司地区においては、現在の自動車関連の国内物流拠点となっていますが、外貿機能を追加することで、より効率的な物流が期待できます。</p>	1
17	トヨタの苅田及び小倉工場は、明示するべきではないか。	p46の該当図に、トヨタ社の苅田及び小倉工場を記載しました。	1

番号	意見の要旨	市の考え方	意見数
18	45 f t コンテナよりも、40 f t 背高コンテナのシェアが伸びている現況では、45 f t コンテナを強いて描く理由はないのではないか。	該当箇所は、45 f t コンテナのみを対象としているのではなく、特殊な形式なコンテナ等に対応していくイメージを示しています。	1
19	臨港鉄道延伸案は、建設費とともに鉄道輸送能力向上の問題もあり、実現は困難と考える。むしろ、北九州貨物ターミナル駅までの道路アクセスについて検討するべきではないか。	世界的に地球温暖化対策として、CO2削減への取組みが必要です。他の輸送手段と比べて CO2 排出量が少ない、鉄道貨物輸送は CO2 を削減する上で有効な手段の一つです。 臨港鉄道延伸案は、全国でも数少ない臨港鉄道の利活用により、環境に配慮した鉄道輸送を推進する構想です。 ご意見を頂きましたアクセス鉄道の検討については、シー&レールの需要を見極めながら、様々な検討項目の一つとして、検討しています。	2
20	物流ネットワークの強化に当たっては、「北九州市道路整備中長期計画」との整合のとれた計画の策定を要望する。	強化する物流ネットワークは、基本的には、北九州市道路整備中期計画と整合を図りながら、設定しています。 ただし、北九州市道路整備中期計画は、概ね 10 年先を見据えた計画であり、長期構想は 20~30 年先の目指すべき方向性です。 そのため、北九州市道路整備中期計画で示されている道路整備箇所に加えて、北九州港として長期的に強化が必要なネットワークも示しています。	1
21	シー&エアの検討について、船舶との連携を必要とする航空貨物がわかりづらい。	シー&エアに関する図面及び説明を追加しました。	1

将来像の実現に向けた主要施策（案）に関するご意見

(4/5)

番号	意見の要旨	市の考え方	意見数
22	港湾荷役サービス等の向上を期待している。	ご意見ありがとうございました。	3
23	ターミナル周辺の用地再編等により、背後ヤードの拡張など物流機能の利便性向上させるべきである。	具体的な施策については、長期構想に位置づけられた施策イメージに基づき、概ね 10 年以内を実現する施策を、次期港湾計画の中に、位置づける予定です。	2
24	消波ブロック使用した高潮対策は、自然環境保全の面から最悪の工法である。さらなる工夫を要望する。	記載の該当箇所は、高潮対策のイメージ図であり、消波ブロックによって、自然環境保全を行うという意味でないことをご理解下さい。	1
25	耐震強化岸壁は、砂津だけで十分ではないか。 この地域の通常時の利活用方法の検討を要望する。	北九州港の 170km に及ぶ長い海岸線と背後圏の人口を考慮すると 1 地区では不十分とされており、適切な配置と整備・活用を進めていきます。	1
26	災害に強い港を目指して、整備を進めていくことを期待している。	ご意見ありがとうございました。	2
27	究極の資源循環は地域内循環であり、海外の国内循環が確立されれば、国際的な資源循環は衰退するのではないか。	直ちに、海外の国内循環が確立されることはないと考えており、資源循環のため、北九州港としての役割を果たすべきと考えております。	1
28	「ムラサキイガイ」による洞海湾での成果、効果を示してほしい。	「ムラサキイガイを使った体験教室」の効果として、体験教室の機会の創出があります。 それを p60 に記述しました。	1
29	地球温暖化防止のため、CT 等での港湾荷役施設の CO2 削減策の提案をするべきではないか。	低炭素社会の実現に向けて、ターミナル等でのエネルギー効率のよい荷役機械の導入を進めていきたいと考えています。 それを p56 に記述しました。	1

番号	意見の要旨	市の考え方	意見数
30	<p>p29の課題「廃棄物処分場の確保」の中で、一般廃棄物と浚渫土砂に加え、産業廃棄物を対象に追加するべきである。</p> <p>容量の大きい産業廃棄物処分場の存在は、企業の生産活動を長期間支え、企業誘致の要因になる。</p> <p>「ものづくりを支え、まちを元気にする港」の項目の方へ記述するべきである。</p>	<p>産業廃棄物処分場は、企業の安定的な生産活動を行う上で、重要な施設であると認識しています。</p> <p>そのため、課題「廃棄物処分場の確保」の中で、産業廃棄物処分場についても記述すべきであると考え、p29に追加しました。</p> <p>また、4つの将来像それぞれが2つの理念に分類されるものではありません。</p> <p>廃棄物処分場の確保は、「ものづくりを支え、まちを元気にする港」、「人と地球にやさしく、世界の環境首都を支える」の2つの理念の中に含まれています。</p>	1
31	<p>門司港レトロ地区は、今後も観光地として成長し、魅力を高めていくためには、レトロ地区を拡げていくことに賛成である。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。</p>	2
32	<p>水際線は、市民開放や民間による有効活用の推進を希望する。</p>	<p>ご意見ありがとうございました</p>	2
33	<p>道路整備を進め、港区同士の連携を高めるとともに、バス路線を誘致し、臨港地区の賑わい創出を図るべきである。</p>	<p>将来像「多くの人が憩い、賑わう港」の中の交流ネットワークの形成の項目中の記述のなかに、同様の趣旨が含まれています。</p>	1